

第38回 景気動向アンケート報告

(2014年1月～4月期)

＜今期 DI+24 で高水準維持、しかし来期は一転 42 ポイント悪化の▲18＞

○全体業況判断 DI (好転企業数－悪化企業数) ÷回答企業数の%、2008年からの推移表

年	1-4 月期	5-8 月期	9-12 月期	年間平均 DI 値
2014	+24 (今期) (同期最高)	(▲18) (予測)	(未調査)	—
2013	+8	+16 (同期最高)	+26 (全期最高)	+16.6
2012	+19	▲6	+4	+5.6
2011	▲13	▲13	+7	▲6.3
2010	▲1	▲22	▲7	▲10.0
2009	▲33	▲29	▲29	▲30.3
2008	▲26	▲36 (全期最低)	▲28	▲30.0

○鹿児島の中小企業家の業況判断は、2008年5-8期▲36最低値を記録して以来徐々に好転を続け、今期(2014年1-4月期)も+24で前期水準を維持した。しかし、来期(5-8月期)は一転▲18を予測。現実になれば、5年連続で前年同期比好転を続けてきたDI値が一気に2010年以前並みの水準まで悪化することとなる。

○2013年1-4月期から今期(実績)に加えて来期(予測)までの個別指標の推移は、売上DI+5→+13→+27→25→(▲4)、収益DI▲2→+2→+12→15→(▲11)、資金繰りDI+2→+10→+10→15→(▲2)と、各指標とも今期までの好転の流れから、一転来期は今期比▲20ポイント前後の悪化を予測。

○業種別業況DIを、今期実績と来期予測との落差の大きい順に並べると①小売業▲72ポイント(+45→▲27)、②卸売業▲31ポイント(+14→▲17)、③個人向けサービス業▲26ポイント(+13→▲13)、④建設業▲22ポイント(+29→+7)、⑤事業所向けサービス業▲21ポイント(+34→+13)、⑥製造業▲20ポイント(+5→▲15)となり、全業種▲20ポイント以上の悪化を予測。

○以上より、本年5月中下旬の調査時点において、総体としての企業家マインドが負の方向へ振れたことは確かである。これが瞬間的なものか、比較的長引くのか、が今後の調査の焦点となる。長引くようであれば、消費税率UPの影響及び政策的妥当性が議論の俎上に上ることとなる。

概要

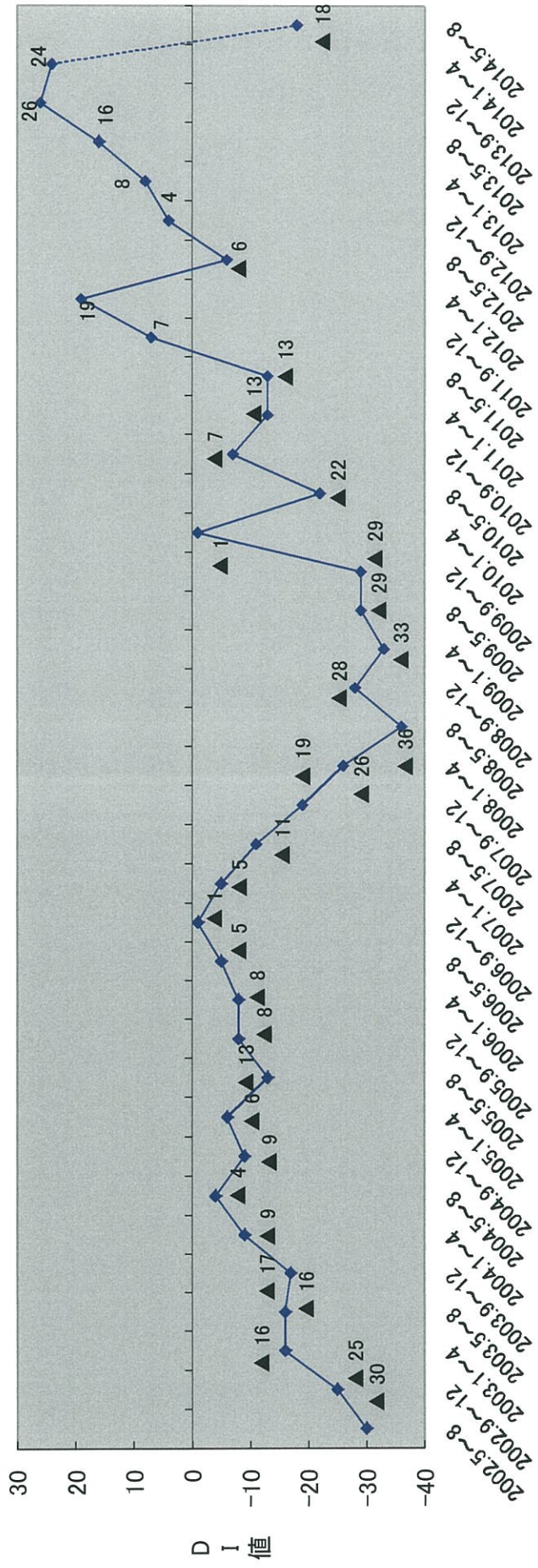
○経営上の問題点は、前回の調査同様、仕入れ価格の上昇と従業員の不足が上位を占めている。経営上の力点として上げられているのは、依然として付加価値の増大。2番目は、新規受注の確保と得意分野の絞込みが並んだ。

○従業員数増減調査(1年前比)について

回答した126社中、増加が41社、増減なしが67社、減少が18社。この増減をDI値化すると+18となり、2013年1-4月期から今期までの4期の全体業況DI値平均+19とほぼ一致。好業況が雇用増に結び付いたことを確認できた。また、建設業、製造業、卸売業で、増員企業数が約4割に達したのをはじめ、全業種で増員企業数が減員企業数を上回った。増員企業の雇用形態は、正社員雇用が非正規雇用の2倍超で、多くの安定的雇用が創出されている。

1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業(303社)
2. 対象期間 2014年1月～4月期実績、2014年5月～8月見通し
3. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
4. 回答企業数 127社より回答を得た 回答率41.9%

全体の業況



全体

今期の業況は「良い」34.9%、「変わらず」54.0%、「悪い」11.1%でD.I.24となっており、前期(26)に比べ、ほぼ横ばいです。
来期の業況はD.I.▲18と大幅に悪化する見通しです。



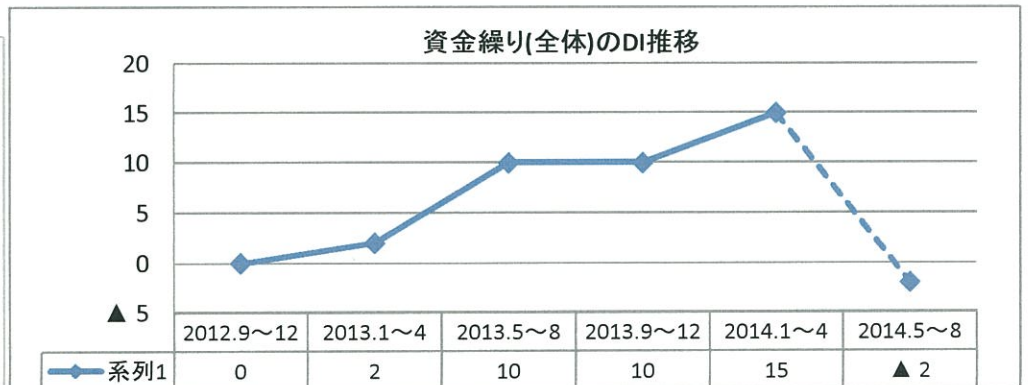
今期の売上は「良い」34.1%、「変わらず」56.4%、「悪い」9.5%でD.I.25となっており、前期(27)に比べ、ほぼ横ばいです。
来期の売上はD.I.▲4と大幅に悪化する見通しとなっています。



今期の収益は「良い」29.6%、「変わらず」56.0%、「悪い」14.4%でD.I.15となっており、前期(12)に比べ改善しています。
来期の収益はD.I.▲11と大幅に悪化する見通しです。

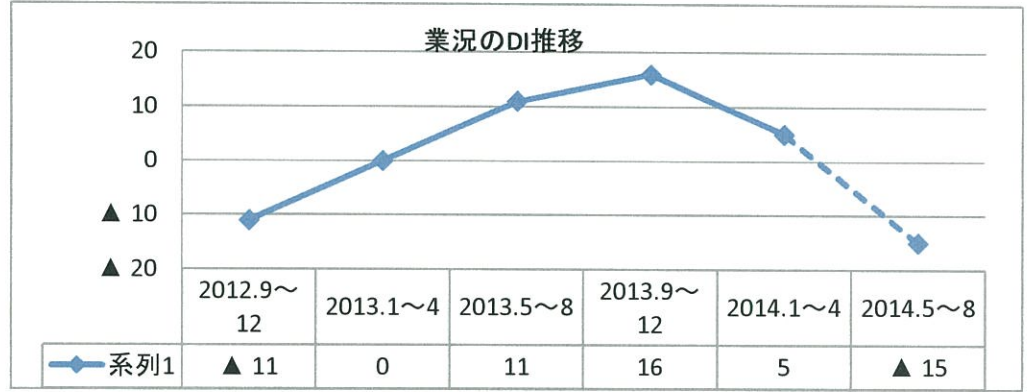


今期の資金繰りは「良い」24.8%、「変わらず」65.6%、「悪い」9.6%でD.I.15となっており、前期(10)に比べやや改善しています。
来期の資金繰りはD.I.▲2と悪化する見通しです。

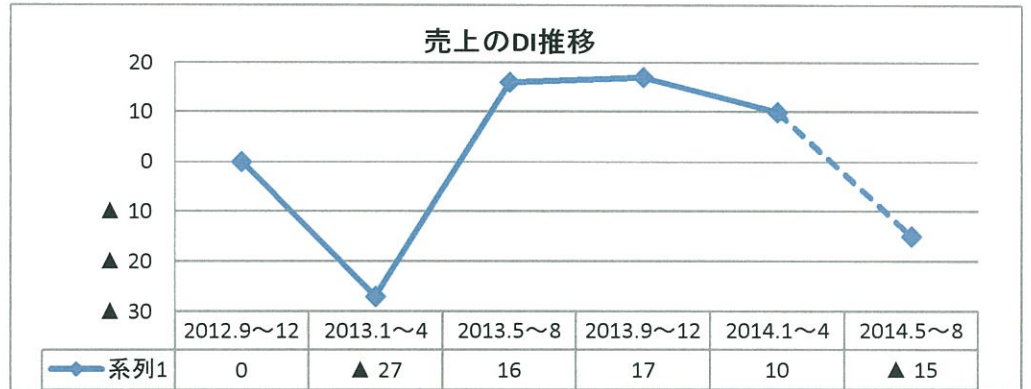


製造業

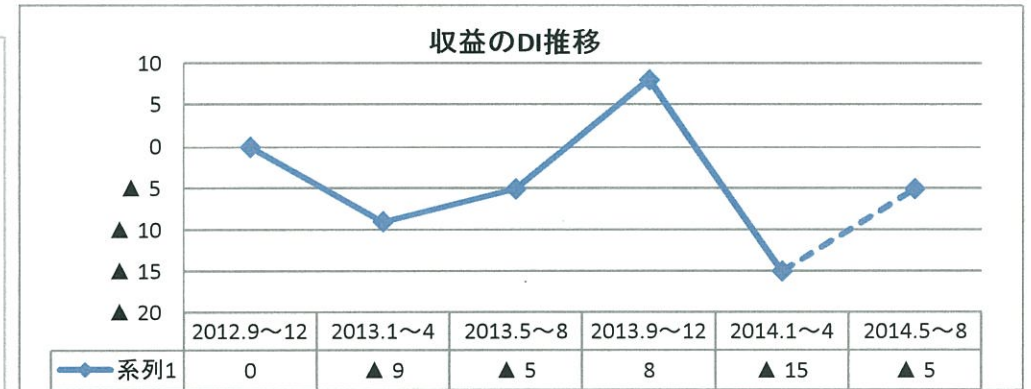
今期の業況は「良い」28.6%、「変わらず」47.6%、「悪い」23.8%でD.I.▲1.5となっており、前期(16)に比べ悪化しています。来期の業況はD.I.▲15とさらに悪化する見通しです。



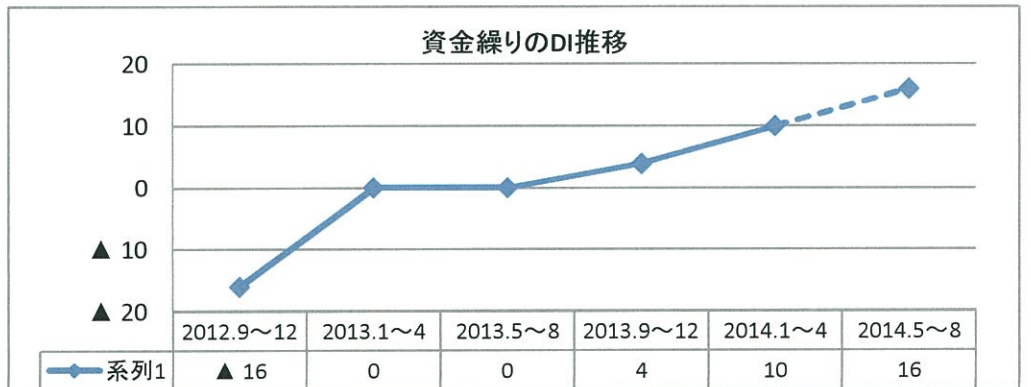
今期の売上は「良い」23.8%、「変わらず」61.9%、「悪い」14.3%でD.I.▲1.0となっており、前期(17)に比べ悪化しています。来期の売上はD.I.▲15とさらに悪化する見通しです。



今期の収益は「良い」15.0%、「変わらず」55.0%、「悪い」30.0%でD.I.▲15となっており、前期(8)に比べ悪化しています。来期の収益はD.I.▲5とマイナスながらやや改善する見通しとなっています。

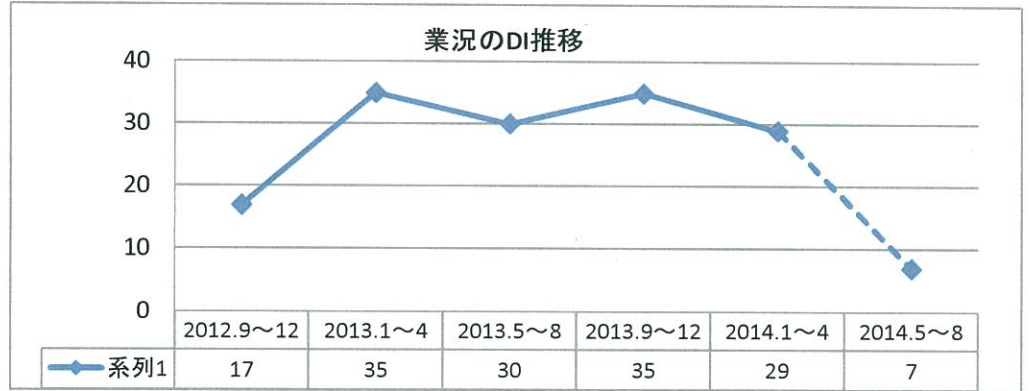


今期の資金繰りは「良い」15.0%、「変わらず」80.0%、「悪い」5.0%でD.I.▲1.0となっており、前期(0)に比べ改善しています。来期の資金繰りはD.I.▲16と改善する見通しとなっています。

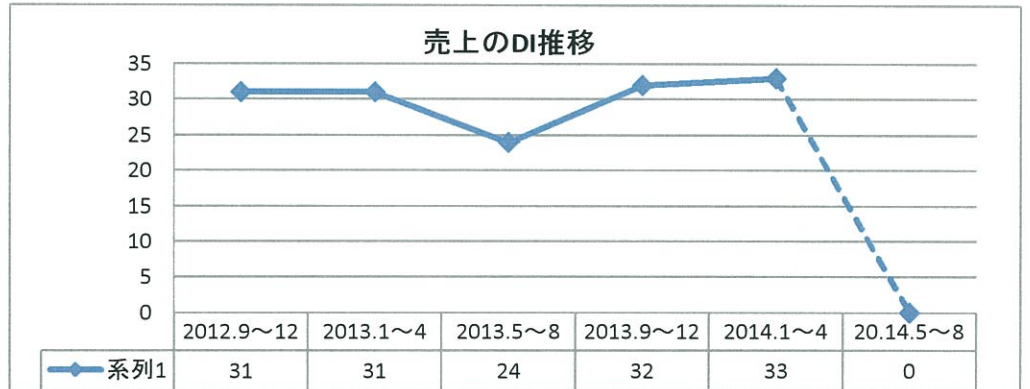


建設業

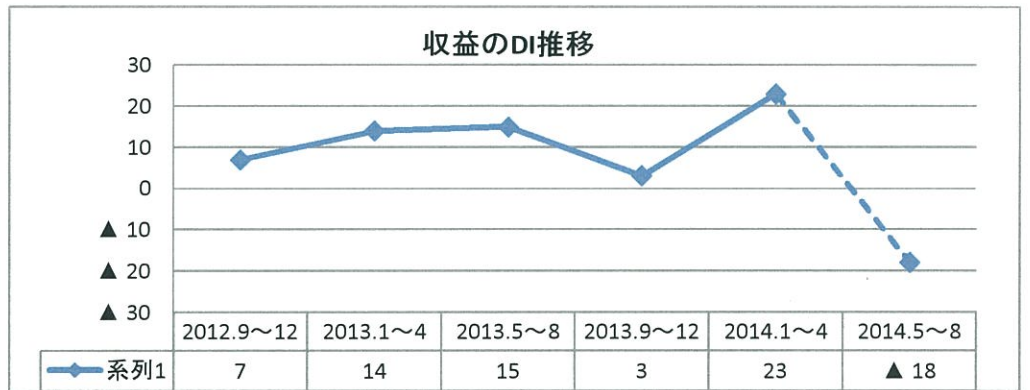
今期の業況は「良い」38.7%、「変わらず」51.6%、「悪い」9.7%でD.I.29となっており、前期(35)に比べやや悪化しています。
来期の業況はD.I.7とさらに悪化する見通しです。



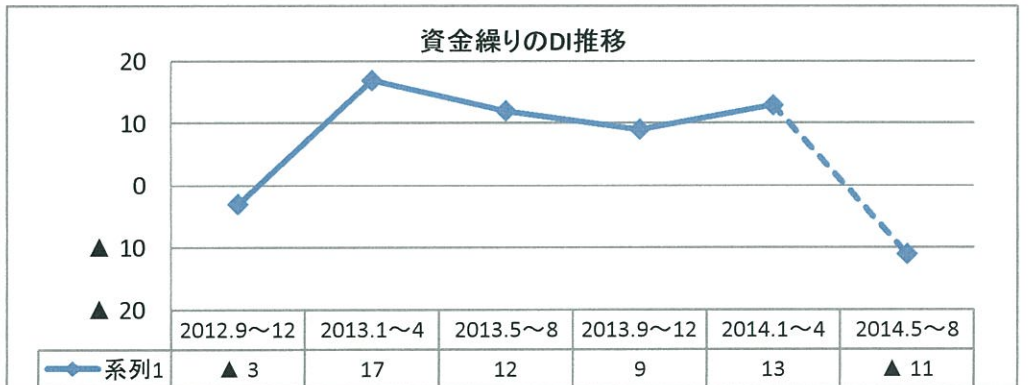
今期の売上は「良い」40.0%、「変わらず」53.3%、「悪い」6.7%でD.I.33となっており、前期(32)に比べ横ばいです。
来期の売上はD.I.0と大幅に悪化する見通しです。



今期の収益は「良い」33.3%、「変わらず」56.7%、「悪い」10.0%でD.I.23となっており、前期(3)に比べ改善しています。
来期の収益はD.I.▲18と大幅に悪化する見通しとなっています。

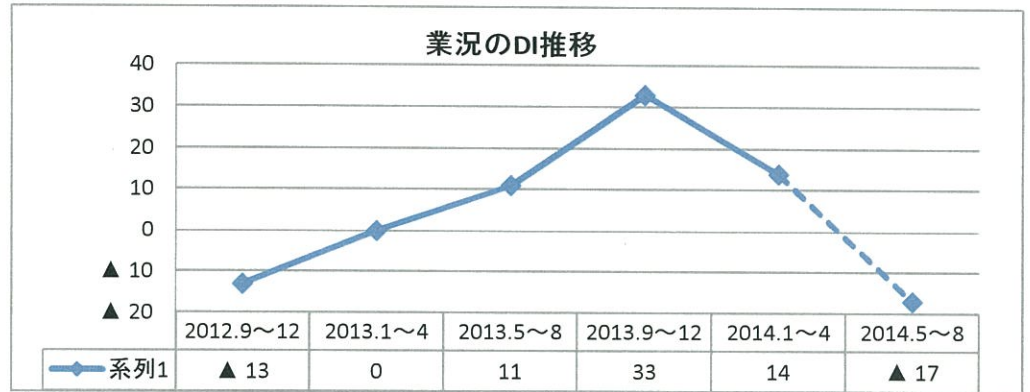


今期の資金繰りは「良い」30.0%、「変わらず」53.3%、「悪い」16.7%でD.I.13となっており、前期(9)に比べやや改善しています。
来期の資金繰りはD.I.▲11とマイナスに転じる見通しとなっています。

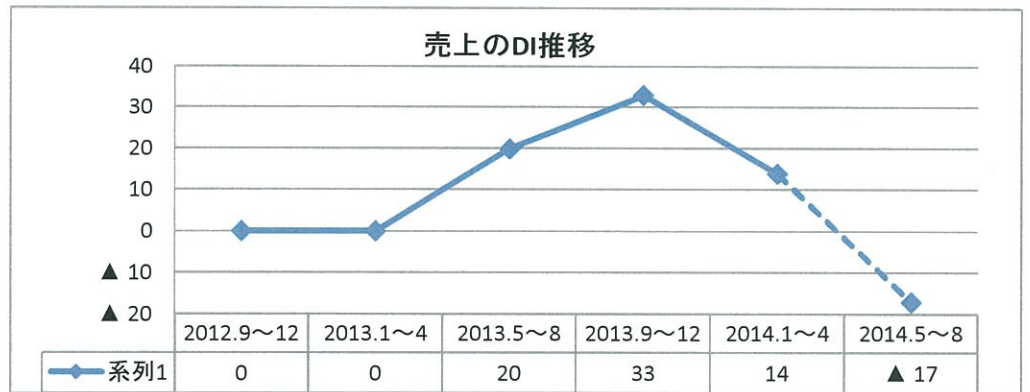


卸売業

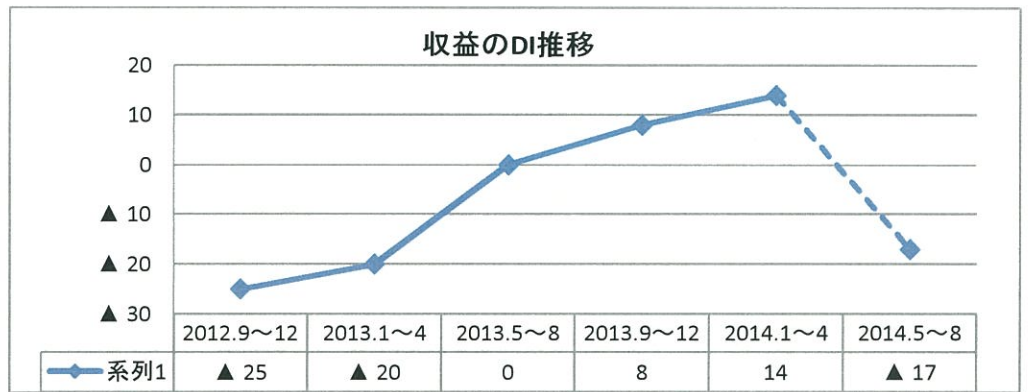
今期の業況は「良い」14.3%、「変わらず」85.7%、「悪い」0.0%でD.I.14となっており、前期(33)に比べ悪化しています。来期の業況はD.I.▲17とさらに悪化する見通しとなっています。



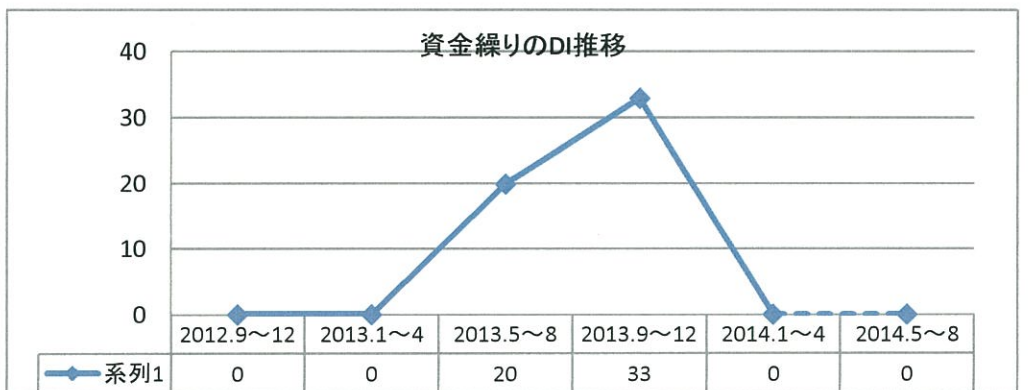
今期の売上は「良い」14.3%、「変わらず」85.7%、「悪い」0.0%でD.I.14となっており、前期(33)に比べ悪化しています。来期の売上はD.I.▲17とさらに悪化する見通しとなっています。



今期の収益は「良い」14.3%、「変わらず」85.7%、「悪い」0.0%でD.I.14となっており、前期(8)に比べ改善しています。来期の収益はD.I.▲17とマイナスに転じる見通しとなっています。

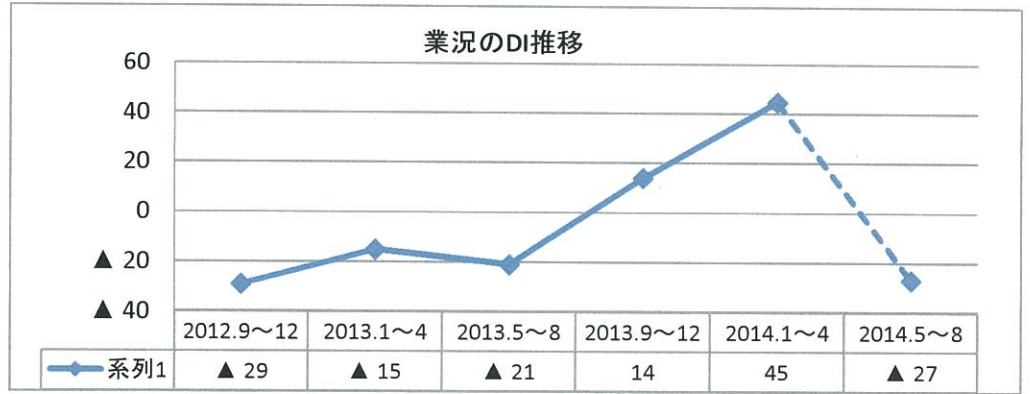


今期の資金繰りは「良い」0.0%、「変わらず」100.0%、「悪い」0.0%でD.I.0となっており、前期(33)に比べ悪化しています。来期の資金繰りはD.I.0と横ばいの見通しとなっています。

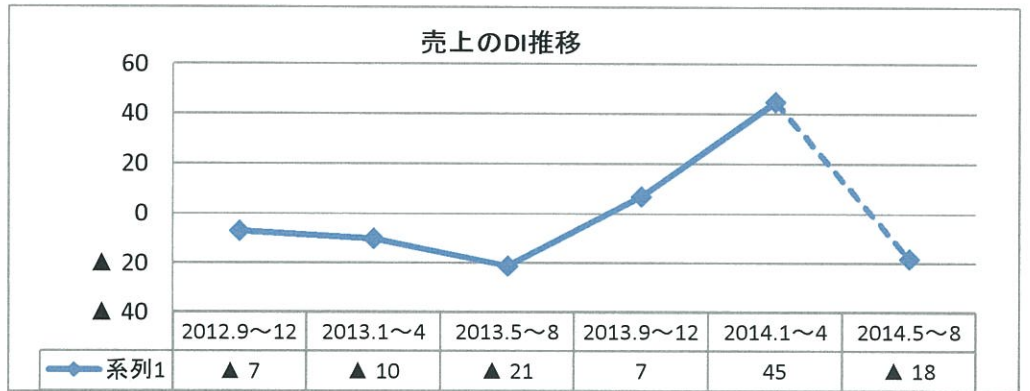


小売業

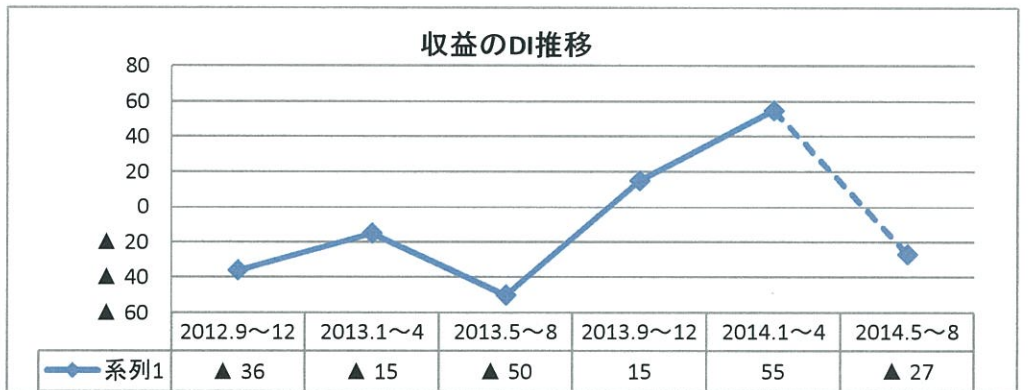
今期の業況は「良い」54.5%、「変わらず」36.4%、「悪い」9.1%でD.I.45となっており、前期(14)に比べ大幅に改善しています。
来期の業況はD.I.▲27と大幅に悪化する見通しとなっています。



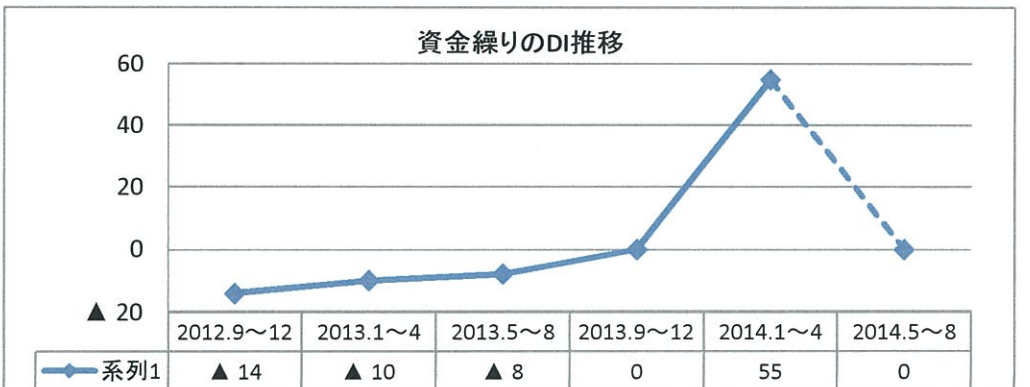
今期の売上は「良い」54.5%、「変わらず」36.4%、「悪い」9.1%でD.I.45となっており、前期(7)に比べ大幅に改善しています。
来期の売上はD.I.▲18と大幅に悪化する見通しとなっています。



今期の収益は「良い」54.5%、「変わらず」45.5%、「悪い」0.0%でD.I.55となっており、前期(15)に比べ大幅に改善しています。
来期の収益はD.I.▲27と大幅に悪化する見通しとなっています。

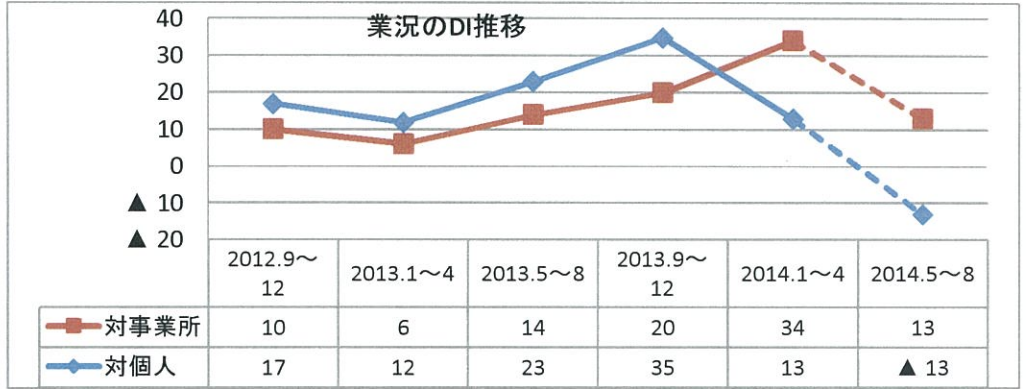


今期の資金繰りは「良い」54.5%、「変わらず」45.5%、「悪い」0.0%でD.I.55となっており、前期(0)に比べ大幅に改善しています。
来期の資金繰りはD.I.0再び悪化する見通しです。

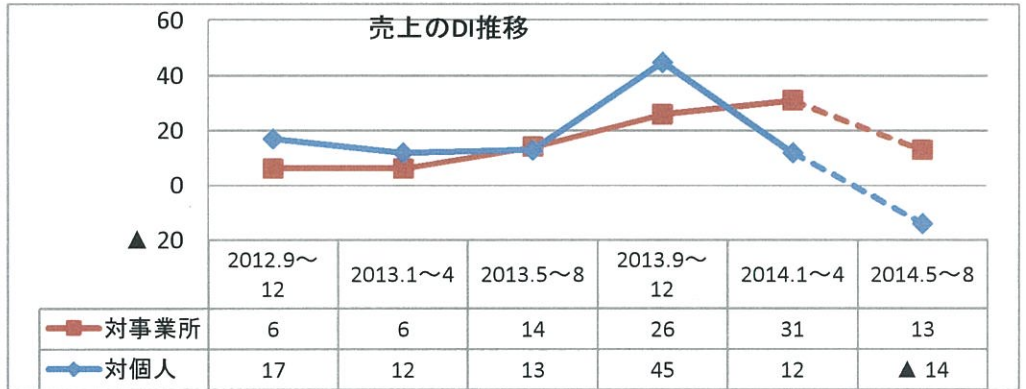


サービス業

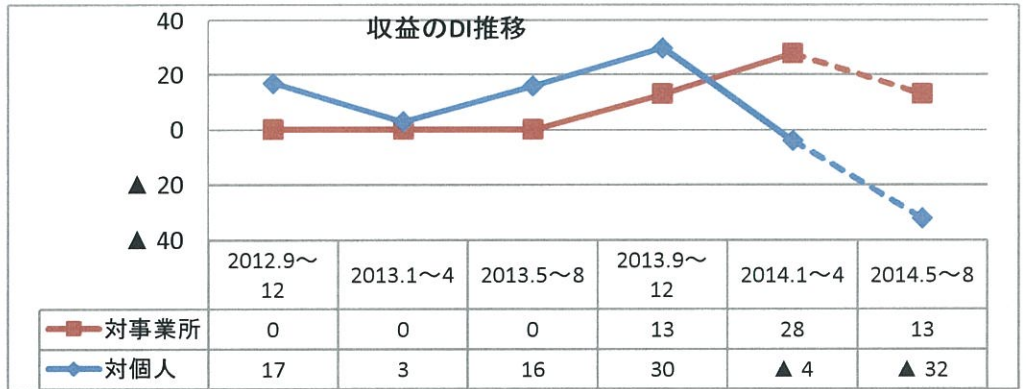
今期の対事業所向けの業況は「良い」40.6%、「変わらず」53.1%、「悪い」6.3%でD.I.34となっており、前期(20)に比べ改善しています。来期の業況はD.I.13と悪化する見通しです。
対個人向けは「良い」25.0%、「変わらず」62.5%、「悪い」12.5%でD.I.13となっており、前期(35)に比べ悪化しています。来期はD.I.▲13とさらに悪化する見通しです。



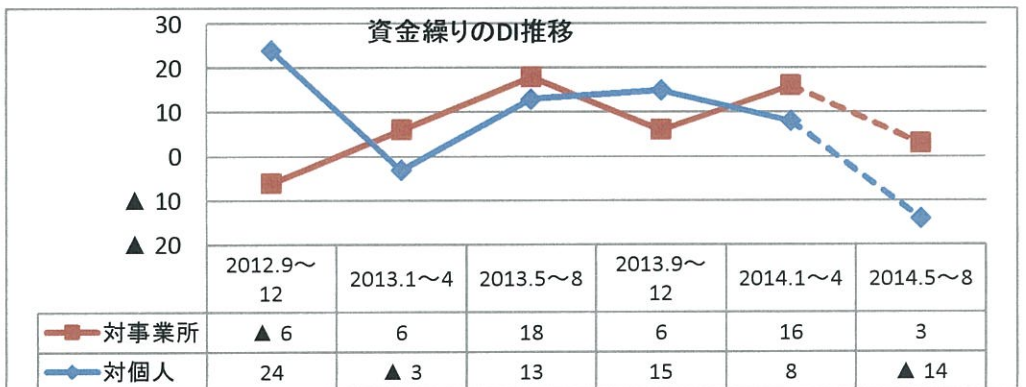
今期の対事業所向けの売上は「良い」37.5%、「変わらず」56.3%、「悪い」6.2%でD.I.31となっており、前期(26)に比べ改善しています。来期の売上はD.I.13と悪化する見通しです。
対個人向けは「良い」28.0%、「変わらず」56.0%、「悪い」16.0%でD.I.12となっており、前期(45)と比べ大幅に悪化しています。来期はD.I.▲14とさらに悪化する見通しです。



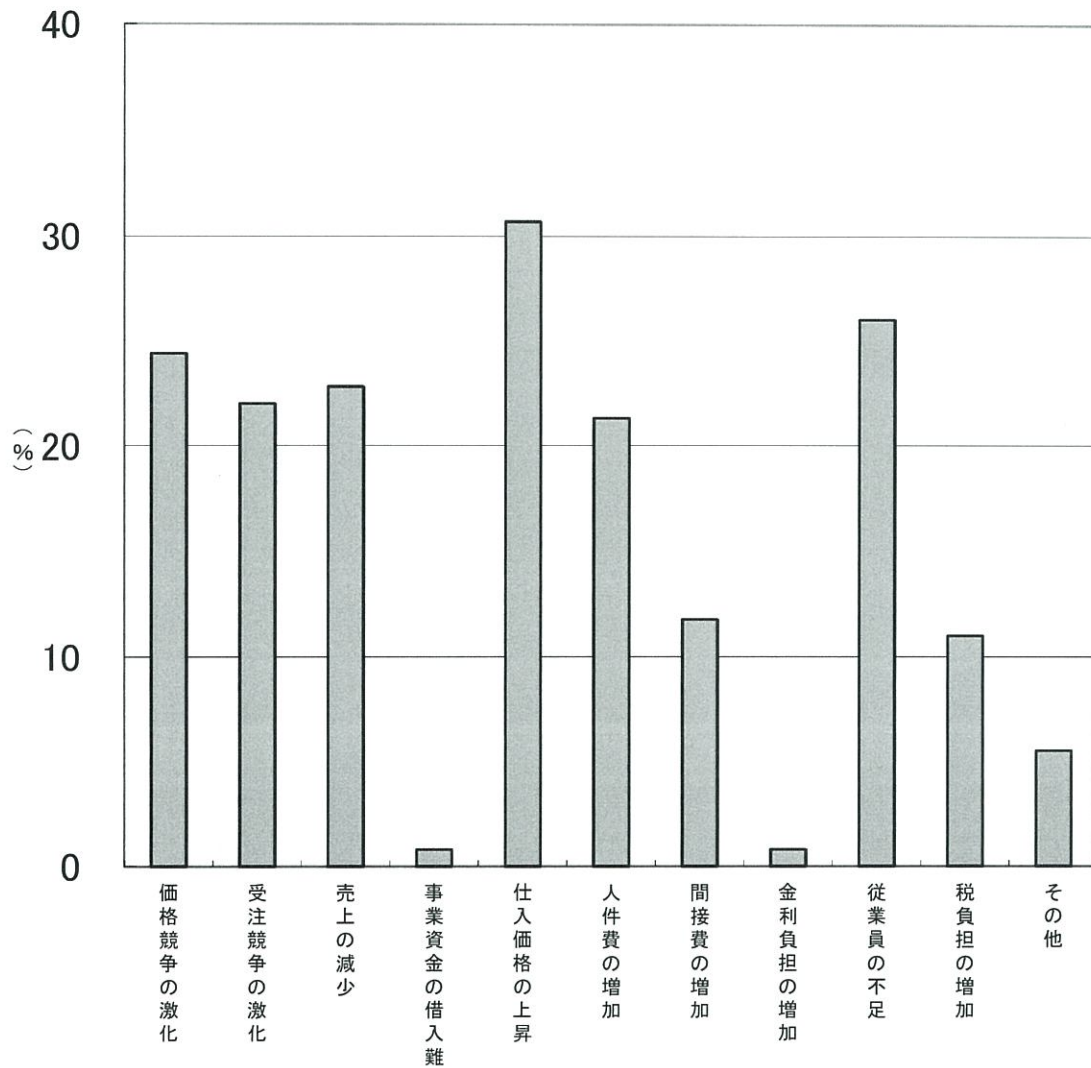
今期の対事業所向けの収益は「良い」34.4%、「変わらず」59.4%、「悪い」6.2%でD.I.28となっており、前期(13)に比べ改善しています。来期の収益はD.I.13と悪化する見通しです。
対個人向けは「良い」24.0%、「変わらず」48.0%、「悪い」28.0%でD.I.▲4となっており、前期(30)に比べ大幅に悪化しています。来期はD.I.▲32とさらに悪化する見通しです。



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」28.1%、「変わらず」59.4%、「悪い」12.5%でD.I.16となっており、前期(6)に比べ改善しています。来期の資金繰りはD.I.3と再び悪化する見通しです。
対個人向けは「良い」16.0%、「変わらず」76.0%、「悪い」8.0%でD.I.8となっており、前期(15)に比べ悪化しています。来期はD.I.▲14とさらに悪化する見通しです。

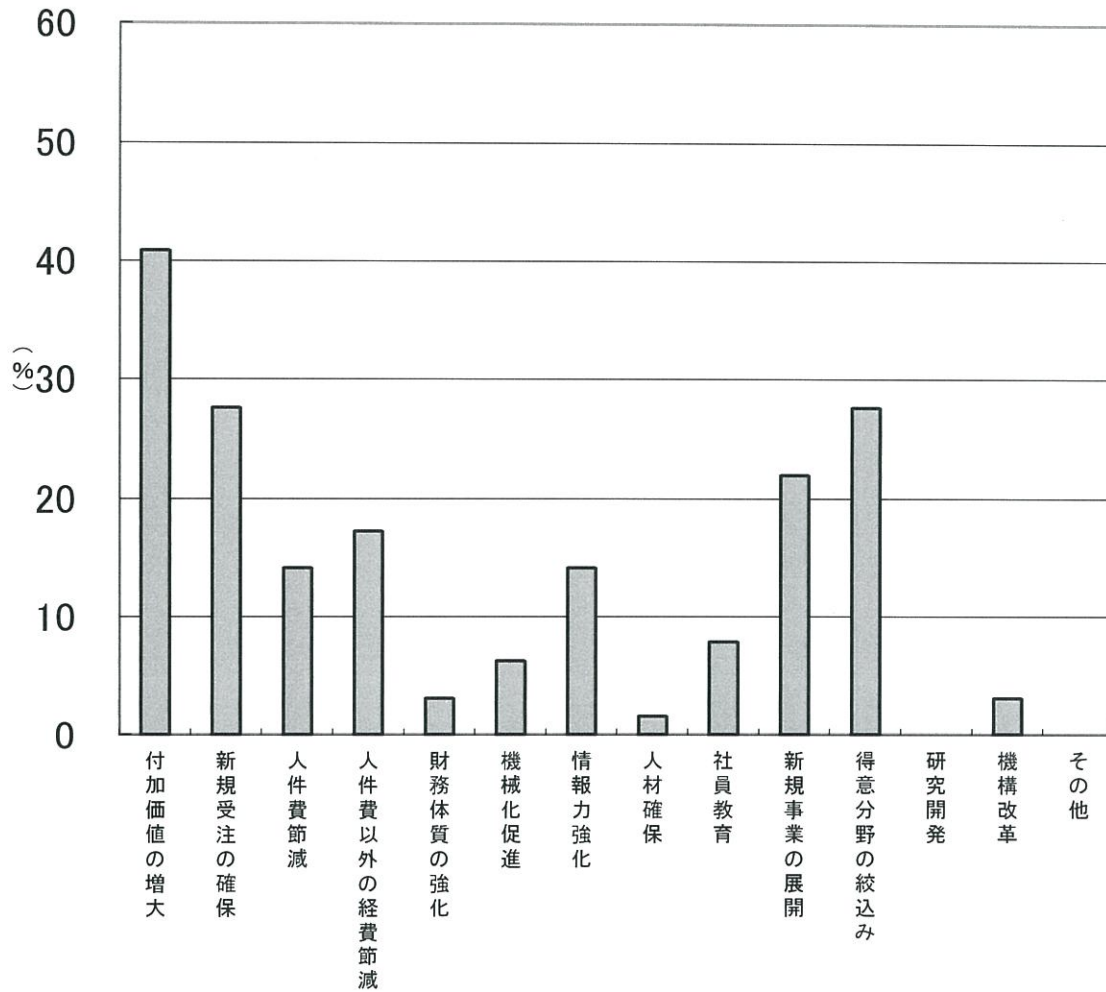


経営上の問題点



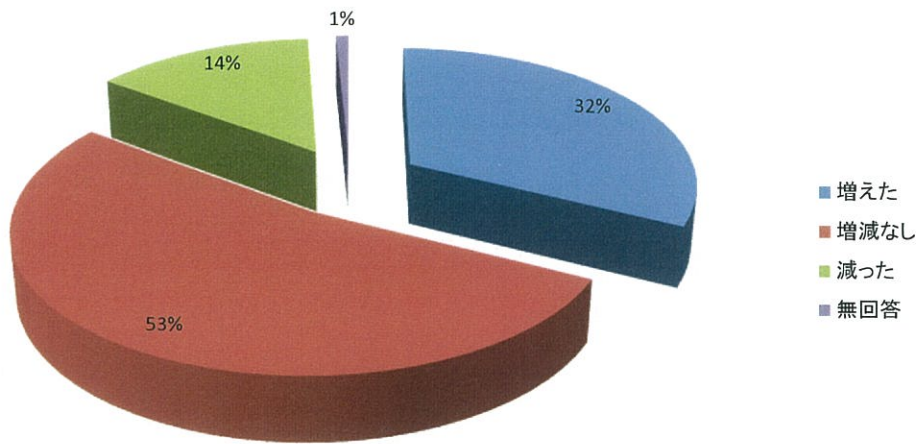
カテゴリー	度数	%
1.価格競争の激化	31	24.4
2.受注競争の激化	28	22.0
3.売上減少	29	22.8
4.事業資金の借入難	1	0.8
5.仕入れ価格の上昇	39	30.7
6.人件費の増加	27	21.3
7.管理費等間接費の増加	15	11.8
8.金利負担の増加	1	0.8
9.従業員の不足	33	26.0
10.税負担の増加	14	11.0
11.その他	7	5.5

経営上の力点



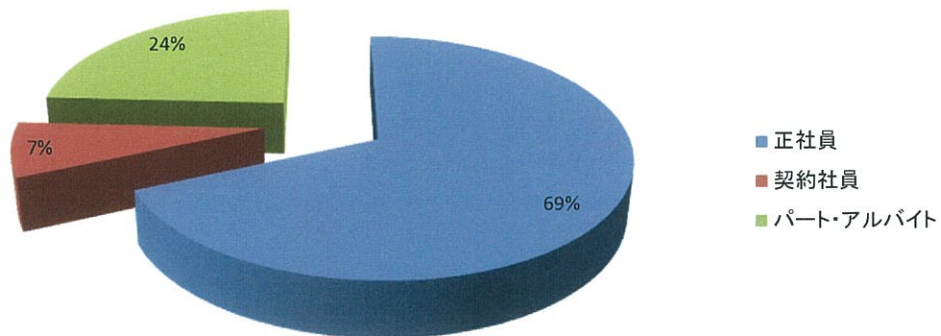
カテゴリー	度数	%
1.付加価値の増大	52	40.9
2.新規受注(顧客)の確保	35	27.6
3.人件費節減	18	14.2
4.人件費以外の経費節減	22	17.3
5.財務体質の強化	4	3.1
6.機械化促進	8	6.3
7.情報力強化	18	14.2
8.人材確保	2	1.6
9.社員教育	10	7.9
10.新規事業の展開	28	22.0
11.得意分野の絞込み	35	27.6
12.研究開発	0	0.0
13.機構改革	4	3.1
14.その他	0	0.0

(4)①一年間での従業員数の増減



	社	%
全体	127	
増えた	41	32.3
増減なし	67	52.7
減った	18	14.2
無回答	1	0.8

(4)②増えた従業員の雇用形態
(複数回答可)



	社	%
全体	41	
正社員	37	68.5
契約社員	4	7.4
パート・アルバイト	13	24.1
派遣社員	0	0.0